

令和4年度第2回 八尾市立歴史民俗資料館運営委員会（概要）

開催日時：令和5年3月23日（木）午後2：00～3：00

開催場所：八尾市立高安コミュニティセンター2階 会議室

【出席者】

参加委員：学識経験者2名 市民代表2名 その他関係者2名：計6名

欠席委員：欠席2名

指定管理者：公益財団法人八尾市文化財調査研究会 2名

事務局：観光・文化財課長・文化財係長 2名

【議事録】

1. 令和5年度の管理運営計画の説明

事務局から、令和5年度の管理運営計画の報告を行った。内容にかかわる部分についての主な意見及び質問は以下のとおり。

【文化財等の展示に関する業務について】

○特別展「女の装い」

- ・古い時期の着物だけでなく、現代の若者の着物の着方などを紹介してはどうか。
- ・着物の展示は思いのほか場所をとるので、展示資料の選択が難しい。

○企画展「恩智遺跡－八尾で最も古いムラ－」

- ・「ムラ」がカタカナ表記なのはなぜか。
⇒「村」とすると今の感覚での意味に感じるので、集落という意味で「ムラ」と表記する人が多いです。
- ・初めて展示する資料はあるのか。
⇒これまでの展示では、日常的に使用していた土器が中心であったが、流水紋のある土器など珍しい土器を中心に展示しようと考えています。

【文化財等の活用に関する業務について】

○河内木綿を体験できる事業：木綿の着物を着てみよう！

- ・実際に着てみるという体験は貴重で、特別展にあわせての開催とのことだが、実施は可能か？
⇒コロナの影響があれば、実施は難しいですが、職員が着てみせるというアイデアもあります。
- ・河内木綿を活用した事業のうち、特に体験学習は子どもたちのモノづくりの体験として重要になるので、継続して実施してほしい。

【全体意見について】

- ・幅広い時代、資料を活用して、展示・事業に取り組んでおり評価できる。

【その他報告】

- ・指定管理者の最終年であることから、12月までに主な事業を終え、1～3月は常設展示は継続するが、引き継ぎ期間とすることを報告した。

意見聴取の後、出席委員全員により、令和5年度管理運営計画は了承された。

以上